

地域	沖縄県南城市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	9 - 20 - 001
----	--------	-----	------------	------	--------------

事業名	沖縄在来種アカバナーを活用した農商工連携による 多様な商品開発と販路開拓
-----	---

連携体	中小企業者：(株)沖縄バヤリース(清涼飲料水製造業)
	農林漁業者：農事組合法人沖縄長寿薬草生産組合(工芸農産物農業)
	連携参加者：

サポート機関等	食料産業クラスター、地域活性化支援事務局
---------	----------------------

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(株)沖縄バヤリースは、地元の素材を活用した新たな商品開発を模索する中で、未開発の地域資源ハイビスカスへ着目していた。そこで、同じ南城市に所在しハイビスカスの栽培及び加工について豊富な経験・ノウハウを有し、ハイビスカスへの思い入れの強い農事組合法人沖縄長寿薬草生産組合と連携することとなった。また、ハイビスカスが南城市の市花であることなどから、連携することで地域産業興しの一環になればと考えている。



[沖縄在来種ハイビスカス(アカバナー)]

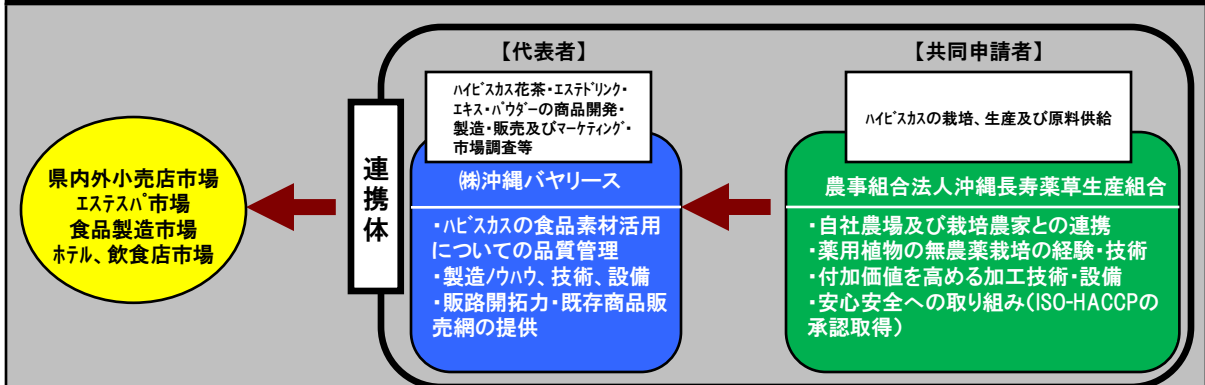
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

ハイビスカスを使った商品は、これまでも開発されているが殆どが、花びらを乾燥させた茶葉のパック詰め商品で、厳密には別種のローゼルを原料にした海外産が主となっており、沖縄在来種のハイビスカスを使用した商品が少ない。本事業では、有機農業栽培による農産物の出荷から製造・販売までのシステムを確立し、既存の設備力及び製造技術力を生かし廉価で機能性に優れた花茶飲料、エステドリンク、濃縮エキス・パウダーの開発に取り組み県内外の小売店、エステスパ業界、食品産業への市場開拓を行う。



[ハイビスカス花茶]

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等
◆新商品の売上高 1億円(平成24年度)
◆地域ブランド「アカバナー」の確立
◆沖縄在来種「アカバナー」の安定栽培技術
◆農作物の高付加価値

代表企業等の連絡先
◆代表者(所在地):株式会社沖縄バヤリース (沖縄県南城市大里字古堅1208)
◆電話番号:098-945-3381
◆FAX番号:098-945-0005
◆E-mail:info@okinawa-bireleys.co.jp
◆ホームページ:http://www.okinawa-bireleys.co.jp

地域	沖縄県読谷村	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	9 - 20 - 002
----	--------	-----	------------	------	--------------

事業名	読谷漁港採れ立て新鮮魚類を活用した「かまぼこ製造・販売」と「読谷かまぼこのブランド化計画」
-----	---

連携体	中小企業者：(株)かぎぜん寿味屋(水産練製品製造業)
	農林漁業者：読谷村漁業協同組合
	連携参加者：

サポート機関等	地域活性化支援事務局
---------	------------

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(株)かぎぜん寿味屋は、今後の事業推進の方向性を模索していたところ昨年より地元読谷村漁協と意見交換を行いながら「読谷漁港採れ立て新鮮」をコンセプトとした競争力のある商品開発の可能性を検討してきた。読谷村漁協は定置網漁を主とし年間を通して安定した漁獲高を誇っておりその安定した原材料供給力を生かし新商品開発を行うことを目的とし連携に至っている。



[みじゅん漁]

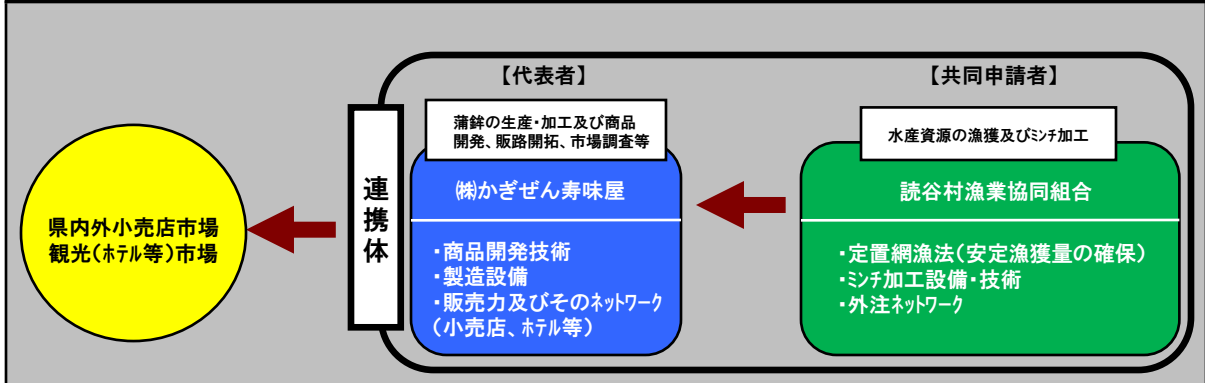
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

読谷村漁協の豊富な水産資源をミンチ加工し、(株)かぎぜん寿味屋へ供給することで全国でも少ない地域に根ざした「産地特定型蒲鉾」を開発・製造し、「読谷かまぼこ」のブランド化を推進していく。さらに(株)かぎぜん寿味屋の持つ販売ネットワークを駆使し、全国に市場を拡大する。



[新商品のかまぼこ]

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等
◆新商品売上高 5,000万円(平成23年度)
◆漁業資源8トンの有効活用
◆地域ブランド「読谷かまぼこ」の確立

代表企業等の連絡先
◆代表者(所在地):株式会社かぎぜん寿味屋 (沖縄県中頭郡読谷村字都屋8)
◆電話番号:098-956-5578
◆FAX番号:098-956-5322
◆E-mail:sumiyasyokuhin@sumiya-kamaboko.com
◆ホームページ:www.sumiya-kamaboko.com

地域 沖縄県 那覇市 認定日 平成20年9月19日 通巻番号 9 - 20 - 003

事業名

高品質牛の肥育ノウハウ確立によって安定生産される「石垣牛」を活用した「石垣牛」外食メニュー及び関連商品の開発、販売

連携体

中小企業者： ㈱リアライズ(飲食店)
 農林漁業者： 大城牧場(肉用牛生産業)
 連携参加者：

サポート機関等

地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

東京・銀座をはじめ沖縄県内外に飲食店を経営する㈱リアライズが質の高い石垣牛の商品提供のため肥育生産農家を探していたところ、石垣市で質の高い子牛を生産している大城牧場と出会い、両者が試験的に高品質な石垣牛の肥育及び肥育ノウハウのデータ化に取り組み始め高い水準の肥育牛を育成している。今後、本格的に肥育牛生産及び最終商品の開発に取り組むべく今回の連携に至った。



[高品質な石垣牛の肥育]

◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

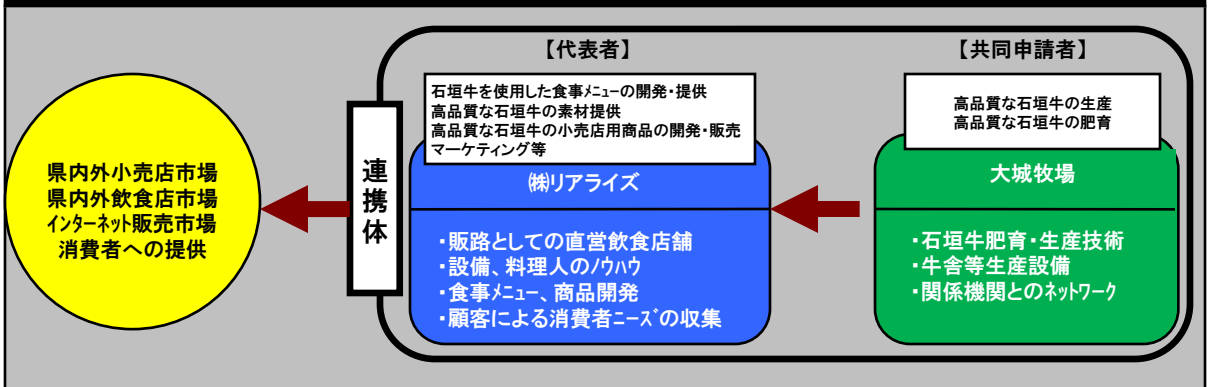
㈱リアライズの県内外の飲食店舗経営及びメニュー・商品開発のノウハウと大城牧場の石垣牛の生産・肥育技術を活用し、高品質な石垣牛を食材・原料とした食事メニューや小売用商品を開発し、主に東京の直営外食店舗を販路として販売しあわせて卸販売、インターネット販売を行う。

また、子牛の生産地・石垣だからこそできる子牛から肥育牛までの一貫生産、さらには最終商品開発、販売までを一貫して行うことによって産地情報の発信や確固たるトレーサビリティ情報の提供を行い消費者から高い信頼を獲得する。



[高品質な石垣牛]

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆新商品売上高 4,500万円(平成24年度)
- ◆肥育牛の売上高 1,820万円(平成24年度)
- ◆地域ブランド「石垣牛」の価値向上
- ◆高品質牛の肥育技術・ノウハウの確立
- ◆高品質牛肥育技術・ノウハウの共有化による生産農家ネットワーク構築

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地): 株式会社リアライズ (沖縄県那覇市久茂地3-6-11)
- ◆電話番号: 098-861-7993
- ◆FAX番号: 098-861-7991
- ◆E-mail: riarazu.honbu@silk.plala.or.jp
- ◆ホームページ: <http://www.realize-ryukyu.com/>